

定例研修会 感想

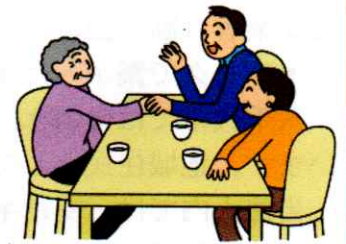
《認知症の方の理解》

平成 29 年 月 15 日

講師 登根美千子 (ケアマネ・認知症ケア専門士・認知症介護経験家族)

ロールプレイ 勝田台ケアマネ・提責

- ・認知症介護者としての実践をとおしての関わり方の説明が解りやすかった。認知症の利用者の症状を良く理解して正しい接し方をしなければと思います。
また、介護家族のストレスなどが良く分かったので、今後の業務に活かしていきたい。
- ・認知症の方へのケアは寄り添い、共感しながら、時には、気分を別な事に方向転換を擦る事もあり！かと思いました。
- ・認知症の利用者さんで「私、頭が馬鹿になってしまったの」「頭がもやもやするの」とか言われる方がいます。自分が以前の自分と違ってきていることを感じ、これからどうなるか不安になっているからだと思います。
そのような方の心に寄り添いながら、支援させて頂こうと思います。



《記録の書き方》

サービス提供責任者

- ・忙しい中、つい簡略化してしまっている事をまず、反省！
よく観察して具体的に書こうと思います。
- ・みんなで情報を共有し、利用者さんにとって最善のお手伝いをする為に、いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・そして、訴えの状態の変化・対応処置も、具体的に文字化する事の大切さを学びました。
- ・実施記録はもっと正確に書く必要があるのだと反省しました。
- ・今まで、記録の大切さが理解されていなかったと思う。よい研修でした。



おれんじカフェ公開講座

第 1 回 涙と笑いの奮闘記 田辺鶴瑛「介護講談」上映会

平成 29 年 2 月 4 日 小林寺勝田台道院
認知症・介護者への理解のため、
認知症の義父の介護経験を講談にした「講談師、田辺鶴瑛氏の認知症介護の DVD」の上映会を実施しました。
公開おれんじカフェに先立って、
認知症の方を理解するためのサロン
スタッフへの研修上映会も行いました。
楽しい笑いの中での講談で、認知症介護の理解を深めたひと時でした。



* 千葉県たすけあい協議会総会・研修会に参加して* 29 年 6 月 11 日

山崎 タキヨ (於、県社協)

日常生活支援総合事業を先行スタートした M 市のモデル指定事業者となった NPO 法人では、訪問型 B (今までの助け合い活動) サービスのため、市に出す山のような書類作りに追われている！との報告。

さわやか財団のアドバイザーからは、「今まで、助け合いで行ってきた活動が必要だと国が認めたことが遅まきながらの改正だが、そこに市のお金が動くか動かないか、市町村によって差が出てくる…」と

八千代市の総合事業は?!